

# 市長から 市民のみなさんへ 33



山陽小野田市長 白井 博文

## 10月から毎週水曜日 夜7時まで 市民課・税務課の窓口業務を延長します

2ページ記事にありますように、行政改革の一環として、10月から毎週水曜日、本庁の市民課・税務課の窓口に限ってですが、夜7時まで業務を行うことにしました。土・日曜がお休みで、平日は午後5時15分までが営業時間の市役所に足を運ぶために、証明書の受取りなど10分程度の用事にもかかわらず、お仕事を休んで来庁されている会社員の方々がいらっしゃることは、かねがね心苦しく感じていました。今回、週1回、また業務も限られてはいますが、日中、どうしても来庁できない方などにご利用していただきたいと思えます。

今回はとりあえず、来年3月まで半年間の期限を定めて行います。どれだけの人の利用があるのか、実際に始めてみなければわからないところですが、仮に来庁者が予想を下回った場合は、せっかくの新たな試みではありますが、見直しを行うことになるかもしれません。一方、市民のみなさんからご好評をいただいた場合は、今回は取扱い対象とはならなかった住民異動の届出などの業務だけでなく、市役所内の他の部署での実施についても検討を始めるつもりです。

職員の窓口対応のマナーアップはもちろんのこと、更なる住民サービスの向上を図り、一人でも多くの市民の方に気持ちよく市役所をご利用いただけるようにこれからも努めていきます。ご意見、ご感想などがありましたら、ご遠慮なくお知らせしていただければと思います。

## 海から山陽小野田を眺めてみて

先日、海上から山陽小野田市を眺める機会があり、本山岬から有帆川の河口、津布田、埴生の方

まで海岸線に沿って船で巡りました。西の空に沈んでいく夕陽を背にした工業地帯、市街地、住宅街、緑の山々・・・「山陽小野田は様々な"顔"を持っている、それらがバランスよく"調和"しているまちなのだなあ」と感慨にふけるひとときでした。

余談になりますが、市の観光紹介のPRの時に使われる「夕陽100選(きららビーチ)」「疏水100選(寝太郎堰)」については、私もあいさつ文などでよく使用しているのですが、竜王山公園が「せとうち夢海道50景」「日本の夜景100選」という肩書きを持っていることまでは知りませんでした。市長として面目ないと反省しているところですが、いずれにしろ、実際に暮らしている私たちが思う以上に、素晴らしい景勝地として全国的に評価されていることについてはうれしく思います。

"調和"のとれたまちづくりを目指し、新市の歩む未来を描く「総合計画」の策定も、基本構想原案の中間報告がまとまりつつあり、その案を市民のみなさんにご説明し、ご意見をお伺いする「地域懇談会」を9月25日から27日まで開催する段階となりました。(詳細記事は9ページに掲載しています。)どの会場にご参加されても構いませんので、平日の夜で何かとお忙しい時間帯ではありますが、一人でも多くの方に参加していただき、市の将来像について理解を深めていただければと思います。

「市長から市民のみなさんへ」についての  
ご意見、ご感想をお寄せください。

〒756-8601 山陽小野田市広報広聴課  
(FAX)83-9336 (E-mail) ki-kouhou@city.sanyo-onoda.lg.jp



## 対話の日

9月28日(木) 大休自治会館  
10月12日(木) 東下津公会堂  
10月26日(木) 須恵西自治会館  
※19:00から 1時間30分程度です